

令和 2 年度 事業報告書

(自令和 2 年 4 月 1 日 至令和 3 年 3 月 31 日)

法人会を取り巻く環境は依然と厳しい状況の中で、全国の法人会員とともに「よき経営者を目指すものの団体」として、納税意識の高揚、会員の研鑽、地域社会への貢献を柱に、さらに公益法人への移行を契機に、新たな「理念」に基づく税制・税務を中心に社会全体へ貢献していくことの明確化と、志の高い経営者であるとの矜持を持って、諸活動を展開してまいりました。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、中止した事業もありましたが、重点施策である「法人会自主点検チェックシート」の普及やソーシャルディスタンスを確保した上で法人会主催の年末調整説明会などを開催するとともに新型コロナに関する税制改正ガイド・給付金ガイドの送付などタイムリーな情報提供にも努めました。

以下に掲げる項目における事業の取組み状況について、ご報告いたします。

□ 公益関係

1 税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業

(1) 税務に関する説明会・研修会・講演会事業

会員はじめ広く一般の企業及び市民を対象に、税法・税務を中心とした説明会・研修会・税を考える週間特別講演会・セミナーを実施し、税知識の普及による納税意識の高揚に努めました。

① 説明会

改正税法説明会 2 回（午前・午後）、年末調整説明会 2 回（午前・午後）

② 研修会

決算期別研修会 4 回

法人税実務講座 初級 4 回（※中級 6 回は中止）

氷見・射水・福岡支部税務研修会 計 3 回

③ セミナー、講演会

税経セミナー、税を考える週間特別講演会 各 1 回

実施にあたり、できるだけ関心のあるテーマやホームページ・会報等を活用し早目の案内に心がけました。

全法連では、平成 26 年度から企業の成長のために内部統制面の強化や経理面の質の向上が重要であることから、法人会の新たなメリットである「法人会自主点検チェック

シート」の普及に取り組んでおり、当会では、令和2年度も、決算期別研修会において「法人会自主点検チェックシート」の説明をするとともに、会報「ほうじんH I T」に「法人会自主点検チェックシートを活用していますか？」を掲載し、その普及に努めました。

(2) 税の広報事業

広報活動の充実は、公益性向上に最も重要であることから、ホームページにも県下の単位会とともに内容の充実に配意し、きめ細かな情報提供に努めました。

また、会報「ほうじんH I T」と全法連機関紙「ほうじん」を市役所や商工会議所、商工会の窓口、税理士先生方や関係団体等に配布し、一部の金融機関にも会報を配布し、多くの閲覧を考慮しながら広報に努めました。

(3) 税の啓発及び租税教育事業

次代を担う児童や生徒が、税金の仕組みや役割などを理解するための租税教育事業を積極的に推進しました。

高岡・氷見・射水3市の小学6年生を対象に、青年部会が6校、女性部会が1校の計7校で租税教室を実施し、各部会の役員が同じ地域に生きる先輩として講師を務め、クイズなどを織り交ぜ、子供達に税の大切さを伝えました。

また、女性部会が実施した、令和2年度「税に関する絵はがきコンクール」では、高岡税務署管内の小学生から655点の応募があり、高岡市立伏木小学校の児童に「高岡税務署長賞」が贈られました。

なお、平成23年から毎年実施していた「租税教育バス」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(4) 税制改正の提言

「令和3年度の税制改正に関する要望」について、令和2年度も全国の法人会の役員を中心に「税制に関するアンケート」を行い、そのアンケート結果を参考に全法連は令和2年9月24日開催の理事会において「令和3年度税制改正提言」を決議しました。

当会では、11月の「税を考える週間」の期間中に、会長はじめ役員が地元の国会議員と3市長を訪問し、提言書を直接手渡し、要望活動を行いました。

2 地域企業の健全な発展、社会貢献事業

税以外の政治や経済・経営、年金・労務など幅広い分野での研修会・セミナー・講演会を開催するとともに、地域との共生を目指した社会貢献活動を行い、地域企業ならびに地域社会の健全な発展に資する事業を展開しました。

税以外の研修等では、雇用管理研修会3回、女性部創立30周年記念講演会、公益共催セミナーを開催するとともに、書籍支援やネット研修も実施しましたが、毎年開催していた総会記念講演会、新春特別講演会は中止しました。

また、租税教室開催校に対し、図書カードの寄贈を行いました。

女性部会では、社会貢献活動として、氷見市の一般社団法人おひさま「キッズサポートなないろ」へ、自動水栓の設置費用として寄付を行いました。

さらに、「高岡市 すみれ保育園」「氷見市 マヤ保育園」「射水市 塚原保育園」に、手作り雑巾や未使用タオルを寄贈しました。

□ 共益関係

3 会員増強・会員支援事業

(1) 組織の充実・強化

会員の純増を目標に、親会・青年部会・女性部会役員が一丸となり、税理士先生方、取扱保険3社のご協力を得て、会員増強に努めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症のため、対面での加入勧奨が難しく、令和2年度は、新規加入は14社（前年34社）と激減し、また、休業・廃業などの理由により82社（前年85社）の退会があり、令和3年3月末は△68社の2,315社となりました。

■ 会員の状況は、以下のとおりです。

区 分	公益社団法人高岡法人会第9期（令和3年3月末）		
	所管法人	会 員 数	加 入 率
期首現在	5,758社	2,383社	41.4%
当期加入会員数		14社	
当期退会会員数		82社	
期末現在	5,904社	2,315社	39.2%

(2) 会員支援事業

令和2年度に計画していた会員交流事業については、新型コロナウイルス感染症のため、ほとんどの事業を中止いたしました。

(3) 青年部会・女性部会

① 青年部会

青年部会活動の大きな柱である「租税教育活動」および「部会員増強運動」について、積極的に取り組みました。

なお、令和2年11月開催予定であった第34回「全国青年の集い」島根大会は中止になり、金沢局連代表として当会青年部が行う予定であった租税教育活動のプレゼンテーションは、令和3年11月開催の佐賀大会で行うことになりました。

② 女性部会

「女性部会のあり方(指針)」に沿って、部会員の資質向上と法人会活動の充実・活性化に努めるとともに、税の啓発活動や社会貢献活動を積極的に進めました。

令和2年度は、当会女性部会創立30周年の節目の年であり、記念式典及び記念講演会を開催しました。

4 会員のための福利厚生事業

法人会の福利厚生制度を取り巻く環境は厳しいことから、協力3社と協調に努め福利厚生制度の更なる推進を図るとともに、福利厚生制度50周年を節目として、全法連主導の「想いをつないで50年『会員企業を守りたい』キャンペーン」について、協力3社と連携し取り組みました。

□ 管理関係

1 諸会議

委員会活動を中心に、活発に事業を展開してまいりました。

2 公益法人会計に添ったICTによる経理処理を進めました。